

# 韓日交流国際建築 Workshop 2011

The Academic Exchange Architecture Workshop 2011

日時： 2011 年 9 月 21 日～24 日

場所： 大韓民国(蔚山大学校建築学部)

課題： 世界遺産『良洞村(ヤンドンマウル)』の歴史性を生かしたウェルカムセンターのデザイン

滋賀県立大学環境建築デザイン学科の学生 15 人が韓国を訪問し、蔚山大学校の学生 48 人と共同して国際建築ワークショップを行いました。良洞村は、李朝時代の伝統文化や街並みそのまま保存され、韓国の伝統が色濃く残る村であり、2010 年 7 月にユネスコ世界文化遺産に登録されました。ワークショップのテーマは、この村の入り口にある良洞村会館を建て替え、良洞村の環境と調和が取れたウェルカムセンターのデザインを提案するというものです。県大の学生 1 人と韓国大学生 3～4 人が 1 グループとなり、合計 15 グループが様々な提案を行いました。各グループ提案の発表の後、教員による投票が行われ、優秀作品 3 点を決定しました。ワークショップの最後には、蔚山大学校建築学部長から優秀作品の表彰状とワークショップ修了証が授与されました。





文責：環境建築デザイン学科 高田豊文